

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	体育	3	必修科目	1年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。																								
学習方法	単元によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。そのため、実施の時期は変更になることがあります。																								
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table>							育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																								
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																								
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																								
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																								
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																								
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																								
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																								
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																								
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																								
以上	以上の観点をふまえ、総合的に評価します。																								
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。 ・どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。 ・遅刻、欠席、忘れ物をしない。 																								

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	体つくり運動	体ほぐし運動	・運動の楽しさや心地よさを味わい、運動に親しんでいく活動(ウォーキング、ジョギング、サイドステップ、クロスステップ、ストレッチ、柔軟体操)				○	○	○	○	○	・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、自他の心と体の関係や変化を確かめ、仲間と自主的に学ぶことが理解できる。	(体育実技)	・体育実技・体育理論についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 発問評価 スキルテスト プリント、課題の提出状況
			・仲間と交流することをねらいしながら、主運動につながりのある展開となる活動を行う				○	○	○	○	○	・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができ、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。	(体育理論)	・スポーツの意義や歴史、文化的特徴や、現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解することができる。	
			・自重を利用し負荷をかけたり、複数人で運動を組み合わせて、筋力を高める				○	○	○	○	○	・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	・体育実技・体育理論についての学習に主体的に取り組もうとしている。	
			・できる最大回数や時間を手がかりにして、無理のない強さや回数を選んだ運動を行う				○	○	○	○	○	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	
6	器械運動	マット運動	・接転技(前転・後転・開脚前転・開脚後転)	○			○	○				・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができ、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。	(体育理論)	・スポーツの意義や歴史、文化的特徴や、現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解することができる。	プリント、課題の提出状況
			・伸膝後転・伸膝前転・跳び前転	○			○	○				・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができ、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。	(体育理論)	・スポーツの意義や歴史、文化的特徴や、現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解することができる。	
			・ほんてん技(側転・ロンダート)	○			○	○				・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができ、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。	(体育理論)	・スポーツの意義や歴史、文化的特徴や、現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解することができる。	
			・平均立ち(三点倒立・倒立・Y字バランス)	○			○	○				・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができ、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。	(体育理論)	・スポーツの意義や歴史、文化的特徴や、現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解することができる。	
6	体育理論	1 スポーツの始まりと変遷	1 スポーツの始まりと発展	○	○					○		・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	プリント、課題の提出状況
			2 近代スポーツから国際スポーツへ	○	○					○		・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	
6	球技	ソフトボール	・オーバーハンドスロー	○			○	○				・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	プリント、課題の提出状況
			・キャッチング	○			○	○				・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	
			・キャッチボール(相手の胸をめがけて・ゴロの捕球から送球・フライの捕球から送球)	○			○	○				・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	
			・四角キャッチボール	○			○	○				・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	
			・バッティング(トスバッティング・スタンドディーバッティング)	○			○	○				・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	
			・ピッ칭ング(・スタンダード投法・スリングショット・ウインドミル投法)	○			○	○				・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	
			・ゲームおよび審判	○			○	○				・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。	
6	陸上競技	短距離走	・ウォームアップ	○			○	○				・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	プリント、課題の提出状況
			・スタート(クラウチングスタート)	○			○	○				・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	
			・中間疾走	○			○	○				・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	
			・フィニッシュ	○			○	○				・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	
			・50m、100m計測	○			○	○				・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。	
		跳躍(走り幅跳び)	・跳び方(またぎ跳び、そり跳び、はさみ跳び)	○			○	○				・走り幅跳びを遠くにどのようにフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが			

12			・立ち技(大腰、体落とし、刈り技、	<input type="radio"/>							
12			・固め技と逃げ方(横四方、上四方、縦四方)	<input type="radio"/>							
12			・乱取りと試合	<input type="radio"/>							
1	冬季スポーツ	スキー(初級)	・スキー着脱方法	<input type="radio"/>	・基本的な技能を身につけ、積極的に練習するとともに、自己の能力に応じて考えながら滑走できる。						
1			・平地を含む緩斜面で(滑歩・滑走・直滑降・登行・転び方・起き上がり方・方向変換)	<input type="radio"/>							
1			・緩斜面滑走(広いスタンスのブルーク・ブルーク・狭いスタンスのブルークボーゲン)	<input type="radio"/>							
1			・リフトの乗降・ゲレンデのマナー	<input type="radio"/>							
2			中斜面コースで実施	<input type="radio"/>							
2			・ブルーク斜滑降	<input type="radio"/>							
2			・横滑り(真下への横滑り・斜滑降の横滑り)	<input type="radio"/>							
2			・パラレルターン(大回り・中回り・小回り)	<input type="radio"/>							
2			・総合滑走(ターンの大きさ、リズム変化)	<input type="radio"/>							
2			・ゲレンデ滑走マナー	<input type="radio"/>							
2	体育理論 (スポーツの発祥と発展)	5 スポーツの高潔さとドーピング	1 スポーツの高潔さを守ること	<input type="radio"/>	・ドーピングが及ぼす社会全体への悪影響について、意見交換などの学習活動に、意欲的に取り組もうとしている。						
2			2 スポーツにおけるドーピング	<input type="radio"/>							
3	体育理論 (スポーツの発祥と発展)	6 スポーツと環境	1 スポーツと環境問題	<input type="radio"/>	・スポーツと環境問題を関連付けて理解している。						
3			2 これからのスポーツと環境保護	<input type="radio"/>							

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	保健	1	必修科目	1年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。																			
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動が重要であることを学ぶ。 ・安全な社会生活について理解を深めるとともに、危険の予測・回避の方法や、応急手当の方法を学ぶ。 																			
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、授業の取り組みや単元テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。</p>		育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																			
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																			
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																			
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																			
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																			
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																			
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																			
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																			
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																			
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位の教科なので休まないこと。 ・ノートをしっかりととること。 																			

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主目的に学習に取り組む態度		
4	現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち	・健康についての多様な考え方	○	○				○			・健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。	・現代社会と健康について、課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主目的に取り組もうとしている。	授業態度 発問評価 単元テスト プリント、課題の提出状況	
4			・健康の成り立ちとその要因	○	○				○							
4		2 私たちの健康のすがた	・わが国における健康水準の向上	○	○				○							
4			・わが国における健康問題の変化	○	○				○							
5		3 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病とその種類	○	○				○							
5			・予防から回復まで	○	○				○							
5		4 がんの原因と予防	・がんとその種類	○	○				○							
5			・がんの予防	○	○				○							
6		5 がんの治療と回復	・がんの治療と緩和ケア	○	○				○							
6			・がんとともに生きる社会づくり	○	○				○							
6		6 運動と健康	・健康からみた運動の意義	○	○				○							
6			・健康によい運動の仕方	○	○				○							
7		7 食事と健康	・健康的な食生活の意義	○	○				○							
7			・健康に良い食事のとり方	○	○				○							
7		8 休養・睡眠と健康	・健康からみた休養の意義	○	○				○							
7			・健康からみた睡眠の意義	○	○				○							
8		9 喫煙と健康	・喫煙の影響	○	○				○				・喫煙と飲酒は生活習慣病などの要因になることを理解している。	・薬物乱用は心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行なってはならないことを理解している。	・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。	
8			・喫煙への対策	○	○				○							
8		10 飲酒と健康	・飲酒の影響	○	○				○							
8			・飲酒への対策	○	○				○							
9		11 薬物乱用と健康	・薬物乱用の影響	○	○				○							
9			・薬物乱用の要因と対策	○	○				○							
9		12 精神疾患の特徴	・精神疾患の要因と種類	○	○				○							
9			・精神保健の今日的課題	○	○				○							
10		13 精神疾患の予防	・日常生活における精神疾患の予防	○	○				○							
10			・精神疾患の早期発見・早期治療	○	○				○							
10		14 精神疾患からの回復	・専門家による支援と治療	○	○				○							
10			・社会環境の整備	○	○				○							
11		15 現代の感染症	・感染症とは	○	○				○							
11			・さまざまな感染症	○	○				○							
11		16 感染症の予防	・感染症予防の3原則	○	○				○							
11			・現代の感染症対策	○	○				○							

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	体育	2	必修科目	2年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。																			
学習方法	単元によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。そのため、実施の時期は変更になることがあります。																			
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、総合的に評価します。</p>		育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																			
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																			
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																			
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																			
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																			
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																			
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																			
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																			
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																			
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。 ・どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。 ・遅刻、欠席、忘れ物をしない。 																			

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	体つくり運動	体ほぐし運動	・運動の楽しさや心地よさを味わい、運動に親しんでいく活動(ウォーキング、ジョギング、サイドステップ、クロスステップ、ストレッチ、柔軟体操)				○	○	○	○	○	・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、自他の心と体の関係や変化を確かめ、仲間と自主的に学ぶことが理解できる。	(体育実技)	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。(体育理論)	授業態度	
			・仲間と交流することをねらいとしながら、主運動につながりのある展開となる活動を行う				○	○	○	○	○	・体育実技・体育理論についての学習に主体的に取り組もうとしている。			発問評価	
			・自重を利用し負荷をかけたり、複数人で運動を組み合わせて、筋力を高める				○	○	○	○	○	・合理的な動きを理解し、練習やトレーニングで向上させ、運動やスポーツを生涯にわたって継続していく効果的な学び方にについて理解する。			スキルテスト	
			・できる最大回数や時間を持つかりにして、無理のない強さや回数を選んだ運動を行う				○	○	○	○	○				プリント、課題の提出状況	
6	陸上競技	短距離走	・ウォームアップ	○		○	○					・早く走るために効果的な練習を自己や集団の能力に応じて、考えながら実行する。				
			・スタート(クラウチングスタート)	○		○	○									
			・中間疾走	○		○	○									
			・フィニッシュ	○		○	○									
			・50m、100m計測	○		○	○	○								
6	球技	ソフトボール	・オーバーハンドスロー	○		○	○					・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。				
			・キャッチング	○		○	○									
			・キャッチボール(相手の胸をめがけて・ゴロの捕球から送球・フライの捕球から送球)	○		○	○									
			・四角キャッチボール	○		○	○									
			・バッティング(トスバッティング・スタンドディーバッティング)	○		○	○									
			・ピッ칭ング(・スタンダード投法・スリングショット・ウインドミル投法)	○		○	○									
			・ゲームおよび審判	○		○	○									
7		バスケットボール	・バス	○		○	○					・バス、ドリブル、シュートなど、基礎的な技能を身につけ、ゲーム中のオフェンスを想定した動きを身に付ける。				
			・ドリブル	○		○	○									
			・各種シュート(個人)	○		○	○									
			・バス、キャッチからのシュート	○		○	○									
			・ハーフコートでの、2対2 3対3	○		○	○	○								

7		・ゲームと審判法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
7	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	1 スポーツの技術と戦術	1 技術と技能	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
7			2 技術の型に応じた練習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
7			3 戰術・作戦・戦略	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
8	陸上競技	跳躍(走り幅跳び)	・跳び方(またぎ跳び、そり跳び、はさみ跳び)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
8			・短助走からの踏み切り	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
8			・コントロールマーク設定の踏み切り	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
8			・空中動作、着地動作	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
8			・計測	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	2 技能の上達過程と練習	1 技能の上達過程	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9			2 効果的な練習方法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9	陸上競技	長距離走	・10分間走	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9			・20分間走	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9			・ロードワーク(3, 2km)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9			・計測	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	3 効果的な動きのメカニズム	1 動きの開始と持続	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9			2 動きのコントロール	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9	球技	バドミントン	・グリップの理解	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9			・リアコートからのショット	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
9			・フロントコートからのショット	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
10			・サービス	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
10			・シングルスの攻防	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
10			・ダブルスの攻防	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
10			・ゲームおよび審判	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
10			サッカー	・パス(トラップ)・ドリブル・シュート等の基本技術 ・3対3 4対1等のゴールゲーム ・スマールサイドゲーム ・ゲームおよび審判
10	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	4 技能と体力	1 運動・スポーツにおける技能と体力の関係	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
10			2 練習とトレーニングの原理と原則	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11	武道	柔道	・柔道着の着方	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11			・礼法(立礼、座礼、立ち方、座り方)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11			・姿勢と組み方(自然体、自護体、相四つ、ケンカ四つ、引き手と釣り手)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11			・受身(前受け身、後ろ受身、横受身、前回り受身)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
11			・進退動作(歩み足、継ぎ足)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
12			・崩し(八方崩し)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

12			・体さばき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
12			・立ち技(大腰、体落とし、刈り技、	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
12			・固め技と逃げ方(横四方、上四方、縦四方)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
12			・乱取りと試合	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
1	冬季スポーツ	スキー(初級)	・スキー着脱方法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・基本的な技能を身につけ、積極的に練習するとともに、冬に限られるスキーを安全に楽しもうとする。 ・スムーズにスキー操作ができる効果的な練習を、自己の能力に応じて考えながら実行する。	
1			・平地を含む緩斜面で(滑歩・滑走・直滑降・登行・転び方・起き上がり方・方向変換)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
1			・緩斜面滑走(広いスタンスのプルーク・プルーク・狭いスタンスのプルークボーゲン)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
1			・リフトの乗降・ゲレンデのマナー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2		スキー(中上級)	中斜面コースで実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2			・プルーク斜滑降	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2			・横滑り(真下への横滑り・斜滑降の横滑り)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2			・パラレルターン(大回り・中回り・小回り)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2			・総合滑走(ターンの大きさ、リズム変化)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2			・ゲレンデ滑走マナー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
2	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	5 体力トレーニング	1 体力トレーニングを支える基礎理論	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	・様々なトレーニングの方法と、進め方について理解できる。
2			2 体力トレーニングの進め方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
2			3 筋力トレーニング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
2			4 持久力トレーニング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
2			5 調整力・柔軟性のトレーニング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
3	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	6 運動やスポーツでの安全の確保	1 運動やスポーツによるけがの実態	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	・運動やスポーツを行う際の注意事項およびけがの種類や発生原因について理解できる。
3			2 運動やスポーツを行うときに注意すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	保健	1	必修科目	2年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。																			
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、各生活段階の健康課題に応じ自己の健康管理及び環境づくりが重要であることを学ぶ。 健康を支える環境づくりについて理解を深め、さまざまな情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することを学ぶ。 																			
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、授業の取り組みや単元テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。</p>		育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																			
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																			
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																			
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																			
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																			
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																			
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																			
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																			
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																			
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> 1単位の教科なので休まないこと。 ノートをしっかりととること。 																			

月	大单元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康	・ライフステージと死亡や病気	○	○				○			・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。	・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 発問評価 単元テスト プリント、課題の提出状況	
4			・各ライフステージにおける健康課題とその支援	○	○				○							
4		2 思春期と健康	・思春期の体と健康	○	○				○							
4			・思春期の心と健康	○	○				○							
5		3 性意識と性行動の選択	・性意識とその尊重	○	○				○							
5			・性に関する情報と性行動	○	○				○							
5		4 妊娠出産と健康	・受精、妊娠、出産	○	○				○							
5			・母子保健サービスの活用	○	○				○							
6		5 避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と避妊法	○	○				○							
6			・人工妊娠中絶	○	○				○							
6		6 結婚生活と健康	・結婚生活の基盤となる心身の発達	○	○				○							
6			・結婚生活と家族の健康	○	○				○							
7		7 中高年期と健康	・加齢による変化と健康	○	○				○							
7			・高齢者の健康を支える取り組み	○	○				○							
7		8 働くことと健康	・働くことと健康のかかわり	○	○				○			・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病等を踏まえ適切な健康管理及び安全管理が必要であることを理解している。	・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病等を踏まえ適切な健康管理及び安全管理が必要であることを理解している。	・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病等を踏まえ適切な健康管理及び安全管理が必要であることを理解している。	・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病等を踏まえ適切な健康管理及び安全管理が必要であることを理解している。	・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病等を踏まえ適切な健康管理及び安全管理が必要であることを理解している。
7			・働き方と健康問題の変化	○	○				○							
8		9 労働災害と健康	・労働災害とその要因	○	○				○							
8			・労働災害の防止	○	○				○							
8		10 健康的な職業生活	・職場における取り組み	○	○				○							
8			・仕事と生活の調和	○	○				○							
9		健康を支える環境づくり	1 大気汚染と健康	○	○				○							
9			・大気にかかわる地球規模の問題	○	○				○							
9			2 水質汚濁、土壤汚染と健康	○	○				○							

		・土壤汚染とその健康影響	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づいて行われていることを理解している。 ・保健・医療制度や地域の保健・医療機関を適切に利用することが重要であることを理解している。 ・医薬品は有効性や安全性が審査されており、正しく利用することが有効であることを理解している。	
		・大気汚染、水質汚濁、土壤汚染のかかわり	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策が行われていることを理解している。	
9											
10											
10	3	環境と健康にかかわる対策	・環境汚染の防止とその対策	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・健康に関する環境づくりが重要であり、積極的な社会参加が人々の健康につながることや、適切な情報の活用が有効であることを理解している。	
10	4	ごみの処理と上下水道の整備	・産業廃棄物の処理と健康	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・ごみの処理の現状	
11	4		・安全で良質な水の確保	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・安全で良質な水の確保	
11	5	食品の安全性	・食品の安全性と健康	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解している。また、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。	
11	6	食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性に関する今日的課題	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・食品の安全性の確保	
11	7	保健サービスとその活用	・食品の安全と私たちの役割	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・食品の安全と私たちの役割	
12	7		・保健行政の役割	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関等を適切に活用することが必要であることを理解している。	
12	8	医療サービスとその活用	・保健サービスの活用	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・保健サービスの活用	
1	8		・医療の供給と医療保険	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・医療の供給と医療保険	
1	9	医薬品の制度とその活用	・医療機関と医療サービスの活用	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・医療機関と医療サービスの活用	
1	10		・医薬品の副作用と安全性を守る取り組み	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・医薬品は、有効性・安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。	
2	10	さまざまな保健活動や社会的対策	・医薬品の種類と使用法	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・医薬品の副作用と安全性を守る取り組み	
2	11		・健康を支える保健活動と社会的対策	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・健康を支える保健活動と社会的対策	
3	11	健康に関する環境づくりと社会参加	・保健活動や社会的体格への住民の理解	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・保健活動や社会的体格への住民の理解	
3	11		・健康と環境づくり	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・健康と環境づくり	
3	11		・環境づくりへの社会参加と情報の活用	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・環境づくりへの社会参加と情報の活用	
										・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。	

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	生涯スポーツ	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。																			
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を通して、スポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む。 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、必要な技能を身に付ける。 																			
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、総合的に評価します。</p>		育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																			
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																			
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																			
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																			
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																			
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																			
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																			
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																			
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																			
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> 実技を中心に実施します。 積極的に授業に参加して生涯にわたってスポーツに取り組めるような計画を立て実践できるようになろう。 																			

月	大单元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	豊かなスポーツライフの設計	生涯スポーツの見方・考え方	社会の変化とスポーツの役割について考える					○	○	○	○	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	レポート提出
			ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について考える					○	○	○	○				
		ライフスタイルに応じたスポーツ	色々なスポーツライフスタイルについて考える					○	○	○	○				
			豊かなスポーツライフの設計					○	○	○	○				
8	マイスポーツライフ①	マイスポーツライフの設計	生涯を通して取り組めるスポーツの設計①					○	○	○	○	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方を理解している。	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている。	
		マイスポーツライフを実践する	生涯を通して取り組めるスポーツの実践①					○	○	○	○				
		リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する①					○	○	○	○				
11	マイスポーツライフ②	マイスポーツライフの設計	生涯を通して取り組めるスポーツの設計②					○	○	○	○	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方を理解し、リーダーとして実践することができる。	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている。	
		マイスポーツライフを実践する	生涯を通して取り組めるスポーツの実践②					○	○	○	○				
		リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する②					○	○	○	○				
		リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する②					○	○	○	○				
		リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する②					○	○	○	○				

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	体育	2	必修科目	3年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。																			
学習方法	単元によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。																			
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、総合的に評価します。</p>		育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																			
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																			
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																			
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																			
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																			
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																			
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																			
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																			
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																			
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。 ・どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。 ・遅刻、欠席、忘れ物をしない。 																			

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	体つくり運動	体ほぐし運動	・運動の楽しさや心地よさを味わい、運動に親しんでいく活動(ウォーキング、ジョギング、サイドステップ、クロスステップ、ストレッチ、柔軟体操)				○	○	○	○	○	・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、自他の心と体の関係や変化を確かめ、仲間と自主的に学ぶことが理解できる。	(体育実技)	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。(体育理論)	・体育実技・体育理論についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 発問評価 スキルテスト プリント、課題の提出状況
			・仲間と交流することをねらいとしながら、主運動につながりのある展開となる活動を行う				○	○	○	○	○					
			・自重を利用し負荷をかけたり、複数人で運動を組み合わせて、筋力を高める				○	○	○	○	○					
			・できる最大回数や時間を手がかりにして、無理のない強さや回数を選んだ運動を行う				○	○	○	○	○					
5	選択制体育A ・サッカー ・ソフトテニス ・バレー・ボーラー ・卓球	○サッカー	・パス(トラップ)・ドリブル・シュート等の基本技術	○	○	○	○	○	○	○	○	(体育実技) ○各種目共通とする	・授業に積極的に取り組み、それぞれの種目の楽しさを味わおうとしている。	・自分やチームの課題を発見し、効果的な練習の仕方を工夫している。	・工夫された練習内容を活動日誌に記入する。	プリント、課題の提出状況
5			・スマールサイドゲーム	○	○	○	○	○	○	○	○					
5			・ゲームおよび審判	○	○	○	○	○	○	○	○					
5			・活動日誌記入			○	○	○	○	○	○					
5		○ソフトテニス	・ラケットの握り方	○	○	○	○	○	○	○	○					
5			・フォア、バックストローク	○	○	○	○	○	○	○	○					
5			・サーブ、ボレー	○	○	○	○	○	○	○	○					
6			・ラリーゲーム、ダブルスゲーム	○	○	○	○	○	○	○	○					
6	6 生涯スポーツの見方・考え方 (豊かなスポーツライフの設計)	1 生涯スポーツの見方・考え方	・活動日誌記入			○	○	○	○	○	○					プリント、課題の提出状況
6			1 生涯の変化とスポーツの役割	○	○					○	○					
6		2 ライフスタイルに対応したスポーツの楽しみ方	2 ライフスタイルに対応したスポーツの楽しみ方	○	○					○	○					
6			1 いろいろなスポーツライフ	○	○					○	○					
6	選択制体育A ・バレー・ボーラー ・卓球	○バレー・ボーラー	・オーバー、アンダーパス	○	○	○	○	○	○	○	○					プリント、課題の提出状況
6			・サーブ、レシーブ(3人レシーブ)	○	○	○	○	○	○	○	○					
6			・スパイク(助走・ジャンプステップ・スウェイブ)	○	○	○	○	○	○	○	○					
7			・ブロック、攻撃につなぐトス	○	○	○	○	○	○	○	○					
7		○卓球	・チームでの総合練習	○	○	○	○	○	○	○	○					
7			・ゲームおよび審判	○	○	○	○	○	○	○	○					
7			・活動日誌記入			○	○	○	○	○	○					
7			・ボールつき(初心者)	○	○	○	○	○	○	○	○					
7	8 陸上競技 (豊かなスポーツライフの設計)	長距離走	・フォアハンドストローク	○	○	○	○	○	○	○	○					プリント、課題の提出状況
7			・サービス、2対1のゲーム	○	○	○	○	○	○	○	○					
7		2 ライフスタイルに応じたスポーツ	・シングルスのゲーム、ダブルスのゲーム	○	○	○	○	○	○	○	○					
7			・ルールと審判法	○	○	○	○	○	○	○	○					
8		8 体育理論 (豊かなスポーツライフの設計)	・活動日誌記入			○	○	○	○	○	○					
8			・10分間走	○	○	○	○	○	○	○	○					
8	8 選択制体育B ・ソフトボール ・ソフトテニス ・バスケットボール ・卓球	○ソフトボール	・20分間走	○	○	○	○	○	○	○	○					プリント、課題の提出状況
8			・オーバーハンドスロー	○	○	○	○	○	○	○	○					
8			・キャッチング	○	○	○	○	○	○	○	○					
8			・キャッチボール(相手の胸をめがけて、ゴロの捕球から送球・フライの捕球から送球)	○	○	○	○	○	○	○	○					
9		○バスケットボール ・卓球	・四角キャッチボール	○	○	○	○	○	○	○	○					
9			・パッティング(トスパッティング・スタンドティーパッティング)	○	○	○	○	○	○	○	○					
9			・ピッティング(スタンダード投法・スリングショット・ウンドミル投法)	○	○	○	○	○	○	○	○					

9			・ゲームおよび審判	○		○	○				
9			・活動日誌記入			○		○	○		
9		○バスケットボール	・バス・ドリブル・シュート等の基礎技術	○		○	○				
9			・バス・ドリブル・シュート等の基礎	○		○	○				
9			・3対3・ハーフコートゲーム	○		○	○				
10			・ゲームと審判	○		○	○				
10			・活動日誌記入			○	○	○			
10	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計)	3 日本のスポーツ	1 日本のスポーツ振興の歩み	○	○				○		
10			2 地域とスポーツクラブ	○	○				○		
11	選択制体育C ・バドミントン	○バドミントン	・ラケットの握り方	○		○	○				
11			・シャトルすくい・シャトルキヤツチ	○		○	○				
11	・ダンス ・卓球		・いろいろなラリー	○		○	○				
11			・ロングハイサーブ	○		○	○				
11			・ショートサーブ	○		○	○				
11			・ハイクリヤー・ドライブ・ドロップ	○		○	○				
11			・ヘアピン・スマッシュ	○		○	○				
11			・ゲームと審判	○		○	○				
12			・活動日誌記入			○		○	○		
12	○ダンス		・アップ・ダウンのリズム取り	○		○	○				
12			・クロス・ボックスステップ	○		○	○				
12			・アイソレーション	○		○	○				
12			・ウェイブ	○		○	○				
12			・発表および撮影	○		○	○				
12			・活動日誌記入			○		○	○		
1	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計)	4 スポーツと環境	1 スポーツと環境問題	○	○				○		
1			2 これからのスポーツと環境保護	○	○				○		

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	スポーツII	2	選択科目	2年	
使用教科書	なし		担当者		

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。																									
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 必修体育をベースに、さらに高度な技術、技能を身に付け個人や集団のレベルアップを目指します。 種目によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。 																									
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </tbody> </table>								育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																									
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																									
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																									
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																									
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																									
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																									
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																									
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																									
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																									
担当者から	以上の観点をふまえ、総合的に評価します。																									

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	活動計画立案		前期分(月別)の活動計画を立てる			○	○	○				・運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動し、目的に応じた技能を身につけることができる。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動ができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	課題の提出状況
5	球技	○サッカー	・鳥かご、ボゼッショントレーニング・ボール回しの応用	○		○	○	○				・自分が蹴りたいところにきちんとコントロールして蹴ることができる。	・状況を瞬時に判断し、シュート・パスすることができます。	・個人技能を使い、また、チームのことを考へた作戦、動きができる。	授業態度
5			・リターンバスからのシュート	○		○	○	○				・シュートを打つ人の蹴りやすいところに落とすことができる。	・味方のことを考えたポジショニングをとることができます。	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	発問評価
5			・シュート練習・クロスからのシュート	○		○	○	○				・クロスボールをゴールにダイレクトで合わせることができる。			スキルテスト
5			・3対3・5対5のシュートゲーム	○		○	○	○							プリント、課題の提出状況
6			・フォーメーション練習	○		○	○	○							
6			・ゲーム	○		○	○	○							
6		○ソフトボール	・オーバーハンドストローク・キャッチング	○		○	○	○				・長い距離でも正確に送球できるか。	・長打された場合など、中継に入り周りを見て判断できるか。	・個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	授業態度
6			・ノック練習(相手の胸をめがけて、ゴロの捕球から送球・フライの捕球から送球)	○		○	○	○				・ボールの正面・落下地点に素早く入ることができると得点を得るために打者・走塁者・守備位置を見て判断してプレーをすることができる。	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	発問評価	
7			・グッズを取り扱う練習	○		○	○	○							スキルテスト
7			・バッティング(トスバッティング・スタンドディーバッティング)	○		○	○	○							プリント、課題の提出状況
7			・中継プレー、カットオフの練習	○		○	○	○							
8			・ゲーム	○		○	○	○							
8			○ソフトテニス	・サーブ、ボレー	○		○	○	○			・正確に狙ったところに打つことができる。	・ラケットを上げながらボールの落下地点を予測することができる。	・個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	授業態度
9			・スマッシュ・サービスボールを打ちかける	○		○	○	○				・どんな方向にきても対応ができるか。	・正しく身につけた技術を仲間に教えることができる。	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	発問評価
9			・いろいろな方向へのボレー、連続ボレー	○		○	○	○							スキルテスト
9			・ラリーゲーム、ダブルスゲーム	○		○	○	○							プリント、課題の提出状況
10	活動計画立案		後期分(月別)の活動計画を立てる			○	○	○	○			・運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動し、目的に応じた技能を身につけることができる。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動ができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	課題の提出状況
10	球技	○バスケットボール	レイアップ、2P、3P	○		○	○	○				・テンポよく・正確にシュートを打つことができるか。	・周りの状況を判断してプレーすることができます。	・個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	授業態度

10		2対2・3対3、ツーメン、スリーメン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		・味方のスピード落とすことなく、バスすることができるか。	・組織的な動きで相手のスキをつくことができる。	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	発問評価 スキルテスト
10		・スクリーンプレー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
10		・速攻練習、4対4									
10		・ゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					プリント、課題の提出状況
11	○バレーボール	・サーブの打ち分け、サーブリシーブ(3人)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・狙った所に打つことができるか。誰がレシーブするかお互いに指示することができます。・ブロック後にすぐ振り返り、次のプレーをすることができるか。	・落下地点をよんでもジャンプし、スペイクを打つことができるか。・相手のトスや助走を見て、すばやくボジショニングをとることができます。	・グループで協力し合い、レベルにあつたメニューで練習できるか。・個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	授業態度
11		Aクイック、Bクイック	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					発問評価
11		・ブロック、攻撃につなげトス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					スキルテスト
11		・グループでの練習	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					プリント、課題の提出状況
11		・ゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
12		○バトミントン	・ロングハイサーブ、・ショートサーブ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・素早く落下地点に入り、狙った所に打つことができるか。・どんな方向にきても対応ができるか。	・周りの状況を判断してプレーすることができます。・ペアで課題や苦手部分を克服することができます。	・個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	授業態度
12		・ハイクリヤー・ドライブ・ドロップ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				発問評価	
12		・ホームポジションからのフットワーク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				スキルテスト	
12		・ヘアピン・スマッシュ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				プリント、課題の提出状況	
1		半面コートのゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
1		・ゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
1	○卓球	・フォアハンドストローク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・相手が取りづらいコースに打ち分けすることができます。・狙った所に打つことができるか。手首を使い、横回転をかけることができるか。	・サービスを出し、素早く基本姿勢にもりり、次の攻撃に備えることができるか。	・個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	授業態度	
1		・カットとカット打ち	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					発問評価
2		・スマッシュ・サイドスピン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					スキルテスト
2		・3球目攻撃	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					プリント、課題の提出状況
3		・サービス、2対1のゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					
3		・シングルスのゲーム、ダブルスのゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

令和7年度

[保健体育科] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	スポーツⅡ	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。																											
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 必修体育をベースに、さらに高度な技術、技能を身に付け個人や集団のレベルアップを目指します。 種目によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。 																											
学習評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>基礎的・基本的学力</td><td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>課題解決能力</td><td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>情報活用能力</td><td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>自己表現力</td><td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>主体性</td><td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>協働性</td><td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>自己理解</td><td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>社会貢献(社会参画)</td><td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td></tr> </tbody> </table> <p>以上の観点をふまえ、総合的に評価します。</p>	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容	1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8	社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容																										
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																										
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																										
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																										
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																										
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																										
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																										
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																										
8	社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																										
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。 どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。 選択者の人数によって実施できる種目が限られてくる可能性があることを理解すること。 																											

10		・ゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	しゅうぶ。	プリント、課題の提出状況				
10	○バレー・ボール	・サーブの打ち分け、サーブ・リーアー(3人)	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・狙った所に打つことができるか。誰がリーアーするかお互いに指示することができますか。 ・ブロック後にすぐ振り返り、次のプレーをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落下地点をよんでもジャンプし、スパイクを打つことができるか。 ・相手のトスや助走を見て、すばやくポジショニングをとることができる。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 	授業態度				
10		Aクイック、Bクイック	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	発問評価			
10		・ブロック、攻撃につなぐトス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	スキルテスト			
10		・グループでの練習	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	プリント、課題の提出状況			
10		・ゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
11		○バトミントン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
11	○バトミントン	・ロングハイサーブ、・ショートサーブ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・素早く落下地点に入り、狙った所に打つことができるか。 ・どんな方向にきても対応ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの状況を判断してプレーすることができるか。 ・ペアで課題や苦手部分を克服することができる。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 	授業態度	
11		・ハイクリヤー・ドライブ・ドロップ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			発問評価	
11		・ホームポジションからのフットワーク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			スキルテスト	
11		・ヘアピン・スマッシュ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			プリント、課題の提出状況	
11		半面コートのゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
11		・ゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
12	○卓球	・フォアハンドストローク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が取りづらいコースに打ち分けすることができるか。 ・狙った所に打つことができるか。手首を使い、横回転をかけることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを出し、素早く基本姿勢にとり、次の攻撃に備えることができる。 ・相手が嫌なところに打つことができるか。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 	授業態度	
12		・カットとカット打ち	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			発問評価	
12		・スマッシュ・サイドスピン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			スキルテスト	
1		・3球目攻撃	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			プリント、課題の提出状況	
1		・サービス、2対1のゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
1		・シングルスのゲーム、ダブルスのゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				